

2025年(令和7年)の経営見通し

- Q 1** 2025年の日本の景気をどのように見通していますか？
- Q 2** 2025年の自社の業況をどのように見通していますか？
- Q 3** 2025年の自社の売上額の見通しは？
- Q 4** 自社の業況が上向き転換点はいつ頃になると見通していますか？
- Q 5** 脱炭素化に向けて信用金庫業界に期待する取組みは？ また、信用金庫業界が脱炭素化に向けた取組みを行っていることを知っていますか？

【調査要領】

調査要領 調査先数 346社 回答数 338社 (回答率 97.7%)
調査時点 2024年12月2日～12月6日
調査地域 当金庫本支店所在地
調査方法 当金庫本支店職員による面接聞き取り法

業種別内訳	調査数 回答数 回答率 (%)			企業規模(従業者数)別内訳			地区別内訳		
	調査数	回答数	回答率 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)		
製造業	40	40	100.0	1～4人	111	32.8	市部	166	49.1
卸売業	24	23	95.8	5～9人	61	18.0	郡部	172	50.9
小売業	116	112	96.6	10～29人	92	27.2		338	100.0
建設業・不動産業	93	91	97.8	30～49人	35	10.4			
サービス業	45	45	100.0	50人以上	39	11.5			
運輸業	28	27	96.4	合計	338	100.0			
合計	346	338	97.7						

Q1 2025年の日本の景気をどのように見通していますか？

『良い』と『普通』が減少、『悪い』が増加

来年の日本の景気について、十勝の中小企業経営者が年末時点でどのように見通しているか尋ねた。

結果を見ると、「良い」との見通しが8%と前年(11%)に比べて減少し、「普通」も27%と前年(30%)より減少した。一方で「悪い」との回答は65%と前年(59%)から増加した。

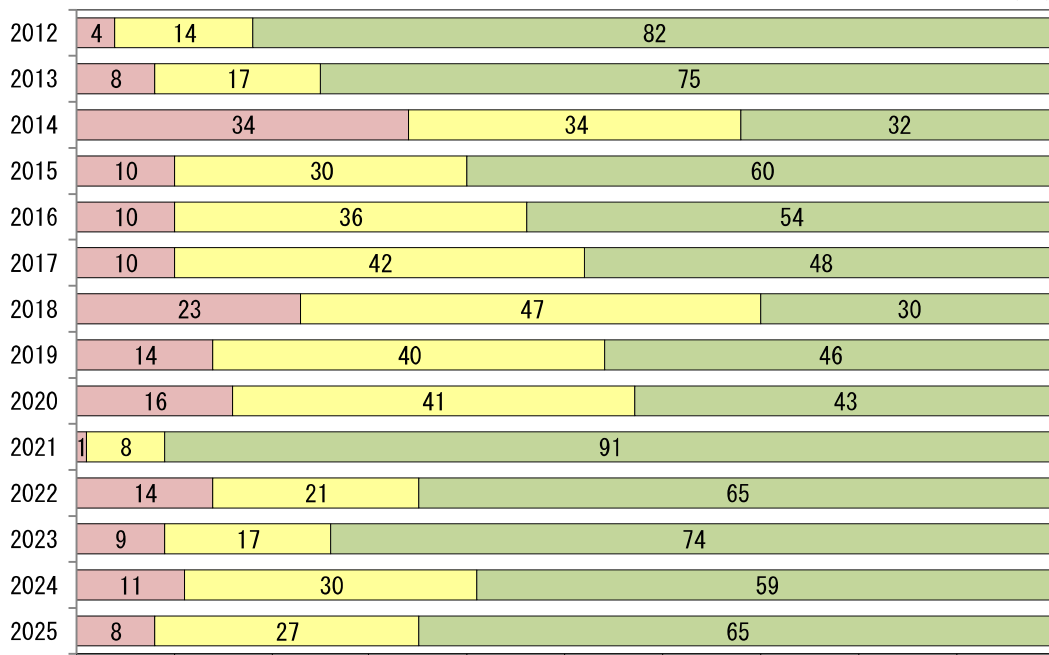
業種別にみると、製造業は「良い」が8%と前年(18%)より大きく減少し、「悪い」が59%と前年(45%)より大きく増加した。小売業は「悪い」が73%と全業種において最も割合が高く、前年(58%)より大きく増加した。運輸業は「良い」が19%と最も高く、全ての業種において唯一前年に比べて増加し、「悪い」との回答は48%と前年(62%)より大きく減少した。

問1 貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位% カッコ内は前年)

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業
『良い』	8(11)	8(18)	9(13)	9(12)	5(7)	4(11)	19(14)
非常に良い	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
良い	1(1)	0(0)	9(0)	0(2)	0(1)	0(0)	0(0)
やや良い	7(10)	8(18)	0(13)	8(10)	5(6)	4(11)	19(14)
『普通』	27(30)	33(37)	26(33)	18(30)	26(28)	40(29)	33(24)
『悪い』	65(59)	59(45)	65(54)	73(58)	69(65)	56(60)	48(62)
やや悪い	50(41)	46(40)	43(37)	59(38)	49(44)	40(42)	41(49)
悪い	14(16)	10(5)	22(17)	12(19)	18(19)	16(11)	7(10)
非常に悪い	1(2)	3(0)	0(0)	2(1)	2(2)	0(7)	0(3)

年末時点の日本の景気見通しの推移 □『良い』 □『普通』 □『悪い』 (%)



Q2 2025年の自社の業況をどのように見通していますか？

自社の業況見通し、前年よりやや厳しさを増す

来年の自社の業況について、どのように見通しているか尋ねた。

結果を見ると、「良い」との見通しが10%と前年(14%)に比べて減少し、「悪い」との回答は47%と前年(45%)よりやや増加した。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業は「良い」がいずれも前年より減少し、「悪い」との回答がいずれも大きく増加した。運輸業は「良い」が22%と最も高く、全ての業種において唯一前年に比べて増加したものの、「悪い」も30%と前年(25%)より増加した。サービス業は「悪い」が24%と前年(44%)より大きく減少し、「普通」が60%と前年(37%)より大きく増加した。

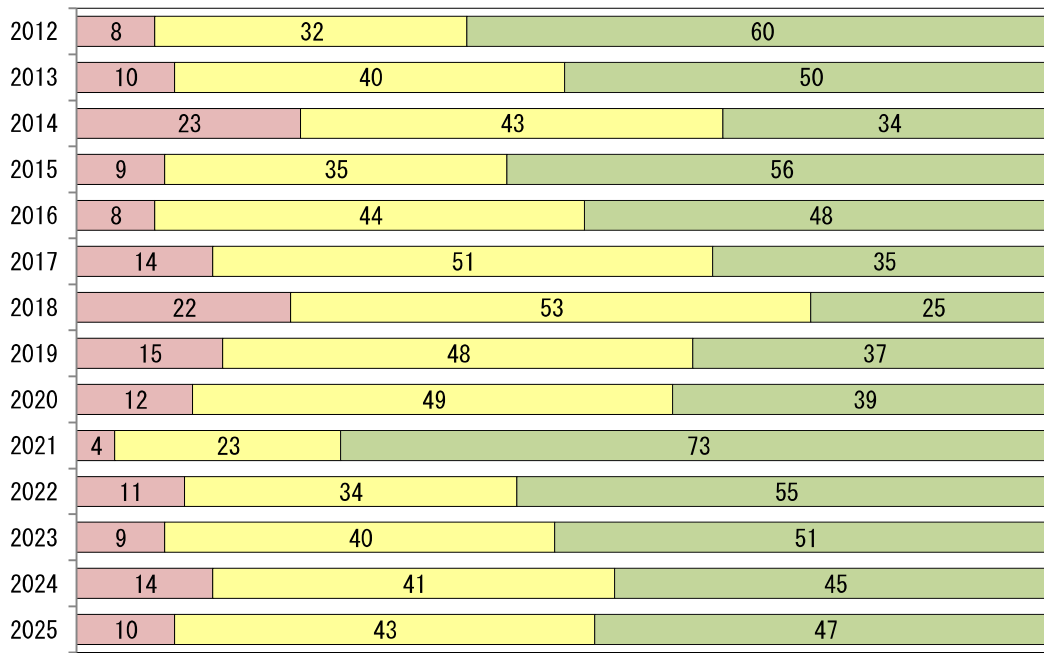
問2 貴社では、2025年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位% カッコ内は前年)

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業
『良い』	10(14)	10(18)	8(17)	8(13)	7(9)	16(19)	22(11)
非常に良い	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
良い	0(1)	0(0)	4(0)	0(0)	0(2)	0(2)	0(0)
やや良い	10(13)	10(18)	4(17)	8(13)	7(7)	16(17)	22(11)
『普通』	43(41)	42(43)	44(45)	29(36)	48(43)	60(37)	48(64)
『悪い』	47(45)	48(39)	48(38)	63(51)	45(48)	24(44)	30(25)
やや悪い	38(36)	40(34)	35(25)	52(41)	35(37)	20(35)	26(21)
悪い	8(8)	5(5)	13(13)	10(10)	9(9)	4(7)	4(4)
非常に悪い	1(1)	3(0)	0(0)	1(0)	1(2)	0(2)	0(0)

年末時点の自社業況見通しの推移

□ 『良い』 □ 『普通』 □ 『悪い』 (%)



Q3 2025年の自社の売上額の見通しは？

『増加』は減少、『変わらない』が44%と最多

来年の自社の売上額について、どのように見通しているか尋ねた。

結果を見ると、「増加」との見通しが27%と前年(34%)に比べて減少し、「変わらない」が44%と前年(36%)から増加した。「減少」との回答は29%と前年(30%)とほぼ同じだった。

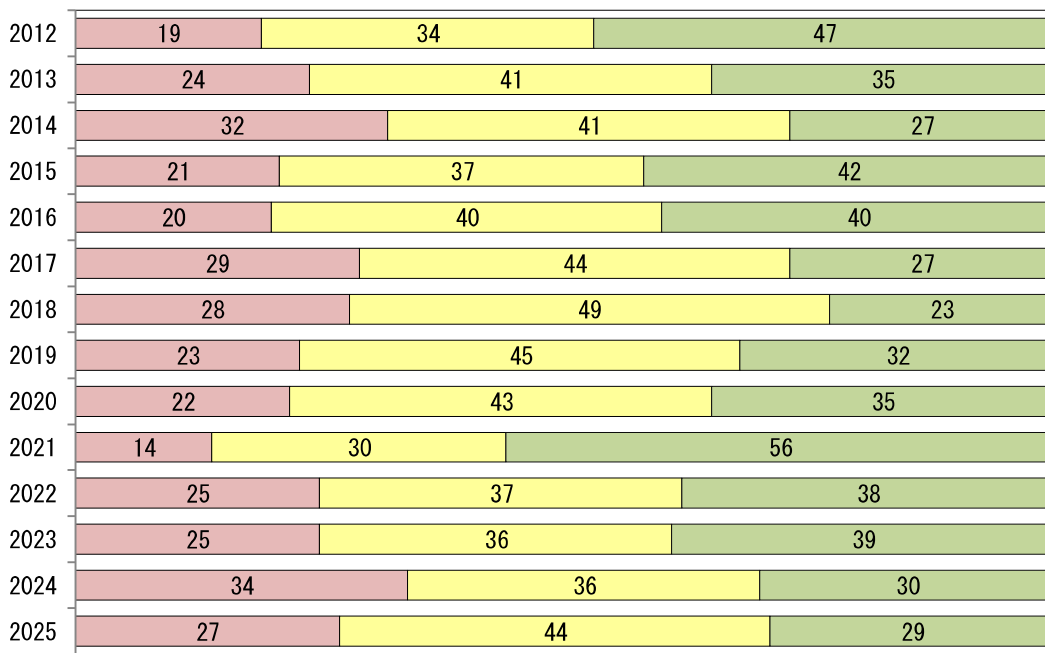
業種別にみると、「増加」はサービス業が38%(前年35%)と最も高く、次いで製造業33%(同40%)、運輸業29%(同28%)と続いた。卸売業は26%と前回(46%)から大きく減少した。「減少」とする回答は小売業40%(同33%)が最も高く、次いで建設業・不動産業35%(同33%)、卸売業30%(同21%)と続いた。

問3 2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位% カッコ内は前年)

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業
『増加』	27(34)	33(40)	26(46)	27(35)	18(30)	38(35)	29(28)
30%以上の増加	1(1)	0(0)	0(0)	1(0)	2(2)	0(0)	0(0)
20~29%の増加	1(1)	3(3)	0(0)	1(2)	1(2)	2(0)	0(0)
10~19%の増加	5(8)	0(11)	4(0)	4(8)	5(9)	7(9)	7(7)
10%未満の増加	20(24)	30(26)	22(46)	21(25)	10(17)	29(26)	22(21)
『変わらない』	44(36)	43(36)	44(33)	33(32)	47(37)	51(33)	56(51)
『減少』	29(30)	24(24)	30(21)	40(33)	35(33)	11(32)	15(21)
10%未満の減少	22(22)	18(18)	22(21)	33(26)	21(20)	7(30)	15(7)
10~19%の減少	4(7)	0(3)	4(0)	4(7)	9(11)	2(2)	0(7)
20~29%の減少	1(1)	3(3)	0(0)	0(0)	3(2)	0(0)	0(7)
30%以上の減少	2(0)	3(0)	4(0)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)

年末時点の自社売上額見通しの推移 □『増加』 □『変わらない』 □『減少』 (%)



Q4 業況が上向く転換点はいつ頃になると見通していますか？

『すでに上向き』は13%の一方、『見通し立たず』が40%に増加

自社の業況が上向く転換点について、いつ頃になると見通しているか尋ねた。

結果を見ると、「すでに上向いている」と回答したのは13%で、「6か月以内」5%、「1年後」11%と合わせると29%と、前年(40%)から減少した。一方で「業況改善の見通しは立たない」は40%と前年(28%)から大きく増加した。

業種別にみると、「すでに上向いている」はサービス業が24%と突出して高く、全業種において唯一前年(23%)から増加。次いで建設業・不動産業16%(前年16%)、製造業13%(同14%)と続いた。一方で「業況改善の見通しは立たない」とする回答は運輸業52%(同40%)、小売業49%(同30%)が高かった。

問4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位% カッコ内は前年)

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業	
1	すでに上向いている	13(15)	13(14)	9(13)	6(13)	16(16)	24(23)	11(16)
2	6か月以内	5(6)	5(5)	9(0)	7(10)	2(1)	7(7)	4(4)
3	1年後	11(19)	13(27)	9(22)	11(19)	9(18)	16(13)	11(20)
4	2年後	15(12)	28(8)	14(13)	11(12)	14(12)	13(11)	11(16)
5	3年後	10(13)	13(19)	18(22)	12(13)	10(13)	4(7)	0(4)
6	3年超	6(7)	5(11)	5(13)	4(3)	9(6)	4(17)	11(0)
7	業況改善の見通しは立たない	40(28)	23(16)	36(17)	49(30)	40(34)	32(22)	52(40)

自社の業況が上向く転換点

(%)

□すでに上向いている □6か月以内 □1年後 □2年後 □3年後 □3年超 ■業況改善の見通しは立たない

2012	5	9	11	12	10	16	37
2013	8	9	13	11	9	15	35
2014	16	7	13	10	8	10	36
2015	9	8	11	11	7	10	44
2016	10	7	10	12	16	9	36
2017	14	9	14	8	10	9	36
2018	25	5	10	6	7	8	39
2019	17	6	14	10	7	10	36
2020	13	7	12	7	8	9	44
2021	8	6	18	24	11	8	25
2022	11	8	23	17	8	8	25
2023	14	10	16	15	9	9	27
2024	15	6	19	12	13	7	28
2025	13	5	11	15	10	6	40

Q5 脱炭素化に向けて信用金庫業界に期待する取組みは？ また信用金庫業界が脱炭素化に向けた取組みを行っていることを知っていますか？

事例や行政からの支援内容の紹介を期待するものの信用金庫業界としての取組み周知に課題

脱炭素化に向けて信用金庫業界に対して期待する取組みはあるか、また脱炭素化に向けた取組みを信用金庫業界が行っていることを知っているか尋ねた。

『信用金庫業界に期待する取組み』として最も多かったのは「事例の紹介」24%で、次いで「行政からの支援内容の紹介」16%、「設備導入支援」13%と続いた。

業種別にみると、「事例の紹介」は製造業(31%)、サービス業(27%)、建設業・不動産業(26%)に多く、「行政からの支援内容の紹介」は製造業(22%)、卸売業(19%)、建設業・不動産業(18%)、運輸業(17%)に多かった。「設備導入支援」ではサービス業(20%)、卸売業(19%)、運輸業(17%)が多かった。

『信用金庫業界の脱炭素化に向けた取組み状況』について、「知っている」と回答したのは25%にとどまり、地域の中小企業に十分周知されていないことがわかった。

問5 貴社では、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか？1から8の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。また、貴社では、信用金庫業界が地域のために積極的に取組みを行っていることを知っていますか？9~0の中から1つ選んでお答えください。

信用金庫業界に期待する取組み (単数回答 単位:%)

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業
1 事例の紹介	24	31	10	23	26	27	17
2 行政からの支援内容の紹介	16	22	19	14	18	11	17
3 CO2排出量の算出	1	0	5	1	1	2	0
4 省エネ診断	3	0	5	4	4	2	0
5 削減計画の確定	2	0	0	4	1	0	4
6 設備導入支援	13	8	19	13	9	20	17
7 サステナブルファイナンス	2	3	0	4	0	0	0
8 特になし	39	36	43	38	41	36	46

信用金庫業界の脱炭素化に向けた取組み状況 (単数回答 単位:%)

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業
9 知っている	25	29	30	23	24	30	16
0 知らない	75	71	70	77	76	70	84